

# 一般質問

6月定例会



安部 丘 議員

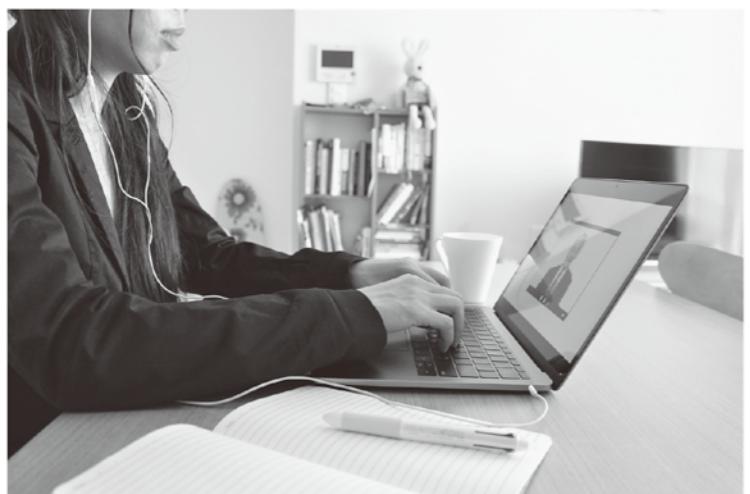
Q アフターコロナ  
課題と対応

新型コロナウイルス感染拡大には全国が震撼した。本町では、皆さんのが感染拡大防止対策に取り組まれたお陰で、感染なしで第一波を乗り切ることができた。

秋には再拡大の懸念もあるが、課題は残っている。中でも看護師や介護従事者の不足について危惧する。「医療および福祉従事者確保対策助成金」は、長期継続的な人材確保には有効だが、今は短期間で人材を集め、病院や福祉事業の体制に余力を持たせて次の備えとするときだ。飯南病院や地域包括ケアセンターが受け皿となり人材を確保できれば、不測の事態に対応する上で大きな助けとなる。

町内の商工事業者も大きな影響を受けた。早急な回復は加している。町外・県外に積極的な求人活動を展開するチャレンスだ。

都市部では福祉施設の廃業も多く、地方勤務希望者も増加している。町外・県外に積極的な求人活動を展開するチャレンスだ。



町長山崎英樹

## A 推進に向け検討

実現できる町」として町内外に  
発信してはどうか。



オンライン面会もひとつの新様式

# 一般質問

6月定例会



伊藤 好晴 議員

予測される災害の規模による命の危険度合いと感染リスクの判断基準、発熱・咳などの症状が出ていたときの避難所への行動判断基準、3密を避ける対策、備品の確保をどうしているのか。

自治体が避難所を開設するのと同時に、住民が自ら避難をどうするのか考える必要がある。避難場所を住民自ら選択し、準備することが重要と考えるがどうか。

自分は大丈夫という考え方だが、住民の真剣な対応を阻害している。これを払拭するため、自治体として尽力することが非常に重要な側面を持つと考えるがどうか。



ハザードマップを見ながら…

## Q 感染対策と 自然災害

# 自然災害

## A 自主的避難を 考えて

## Q 長期休校の影響は

学習や体力への影響と対策を問う。中学校3年生には特段の配慮が必要ではないか。



## 休校中の来島小学校

## A 問題解決に努力

教育長矢飼

休校期間中に、真剣に取り組んだ児童生徒が多数いる一方で、生活リズムの乱れにより学習に取り組めなかつた児童生徒も数名はあつた。運動量は明らかに少なくなつておらず、体力や持久力の低下が多く見られる。

夏休みを9日間短縮し、早期に取り戻しを図るよう進めている。体育の授業や部活動で調節を行い、体力の回復に努める。

中学校3年生ばかりではないが、学校の勉強も家庭での勉強についても対応していかなくはならない。